

◎実務経験のある教員が担当する科目一覧表

教育内容		単位数	科目名	単位数	時間	実務 経験	
基礎分野	科学的思考の基盤	14	情報リテラシー	2	45	◎	
			言葉で伝える	1	30	×	
			学びを支える	1	30	◎	
			看護師としてのアクションプランを考えよう	1	15	◎	
			コミュニケーションの基礎	1	30	◎	
	人間と生活・社会の理解		倫理学	1	30	×	
			家族社会学	1	30	◎	
			発達心理学	1	30	×	
			看護で活用できる外国語	1	30	×	
			仲間を知り、仲間になる	1	15	◎	
			基本的なマナー	1	15	◎	
			人間を知る	1	30	×	
			暮らしと文化	1	15	×	
			※最低限取得すべき単位数	14	小計	14	345
専門基礎分野	人体の構造と機能	16	看護に役立つ生化学	1	30	×	
			いのちを支えるからだのしくみⅠ	1	30	◎	
			いのちを支えるからだのしくみⅡ	1	30	◎	
			いのちを支えるからだのしくみⅢ	1	30	◎	
			いのちを支えるからだのしくみⅣ	1	30	◎	
			いのちを支えるからだのしくみⅤ	1	15	◎	
	疾病の成り立ちと回復の促進		看護に役立つ薬理学	1	30	◎	
			人と微生物	1	30	◎	
			病気の理解に役立つ病理学	1	30	◎	
			食と健康	1	15	◎	
			病気をもつ人を支えるための基礎知識Ⅰ	1	30	◎	
			病気をもつ人を支えるための基礎知識Ⅱ	1	30	◎	
			病気をもつ人を支えるための基礎知識Ⅲ	1	30	◎	
			病気をもつ人を支えるための基礎知識Ⅳ	1	30	◎	
			こころの病いをもつ人を支えるための基礎知識	1	15	◎	
			病気を予防するための身体活動	1	30	◎	
	※最低限取得すべき単位数		16	小計	16	435	15単位(405時間)
	健康支援と社会保障制度		6	いのちと暮らしを守るための社会のしくみ	1	15	◎
				安心な暮らしを支えるための制度	1	15	◎
				健康を守るための制度	1	15	◎
				療養を支えるための制度	1	15	◎
				いのちと暮らしをつなぐための制度の活用Ⅰ	1	15	◎
				いのちと暮らしをつなぐための制度の活用Ⅱ	1	30	◎
※最低限取得すべき単位数	6	小計	6	105	6単位(105時間)		
専門分野	基礎看護学	11	看護の基礎	1	30	◎	
			私の未来、私の看護	1	15	◎	
			看護倫理と医療安全	1	30	◎	
			フィジカルアセスメント	1	30	◎	
			看護の展開方法	1	30	◎	
			動く、調節するを支える看護技術	1	30	◎	
			食べる、排泄するを支える看護技術	1	30	◎	
			からだを守るための看護技術	1	30	◎	
			看護技術の基礎	1	30	◎	
			与薬・検査を安全かつ正確に行う看護技術	1	30	◎	
			事例で学ぶ看護技術と臨床判断	1	30	◎	
	小計	11	315	11単位(315時間)			
	地域・在宅看護論	5	地域で暮らす人々の生活を知る	1	30	◎	
			地域で暮らす人々への健康支援	1	30	◎	
			地域で暮らす人々の生活を支えるしくみ	1	15	◎	
			在宅で療養する人の生活を支える看護	1	30	◎	
			在宅で療養する人の生活を支える看護実践	1	30	◎	
	小計	5	135	5単位(135時間)			
	成人看護学	4	おとなの健康を支える看護	1	30	◎	
			生命危機にある人への看護	1	30	◎	
			がんとともに生きる人への看護	1	30	◎	
			おとなの療養生活を支える看護実践	1	30	◎	
	小計	4	120	4単位(120時間)			
	老年看護学	3	健やかな老いを支える看護	1	30	◎	
			高齢者の病いを支える看護	1	30	◎	
			高齢者の療養生活を支える看護実践	1	30	◎	
	小計	3	90	3単位(90時間)			
	小児看護学	3	子どもの発達に応じた看護	1	30	◎	
			病気の子どもと家族を支える看護	1	30	◎	
			病気の子どもと家族を支える看護実践	1	30	◎	
	小計	3	90	3単位(90時間)			
	母性看護学	3	女性の健康を支える看護	1	30	◎	
			その人らしくはぐくみ、産む看護	1	30	◎	
その人らしく育ち、育てる看護			1	30	◎		
小計	3	90	3単位(90時間)				
精神看護学	3	こころを知りこころを支える看護	1	30	◎		
		こころの病いをもつ人への看護	1	30	◎		
		こころの病いをもつ人を支える看護実践	1	30	◎		
小計	3	90	3単位(90時間)				
看護の統合と実際	4	災害看護・国際看護	1	30	◎		
		看護マネジメント	1	30	◎		
		地域包括ケアを担う人になるために	1	30	◎		
		看護技術の総しあげ	1	15	◎		
小計	4	105	4単位(105時間)				
複数の教育内容を併せて教授する科目(※)	7	人の生涯における健康課題を支える看護	1	30	◎		
		薬物療法を受ける人への看護	1	30	◎		
		手術を受ける人への看護	1	30	◎		
		尊厳ある生と死への看護	1	30	◎		
		病気とともに生活する人への看護	1	30	◎		
		家族看護	1	30	◎		
		健康課題に働きかける指導技術	1	30	◎		
小計	7	210	7単位(210時間)				
※最低限取得すべき単位数	43	専門分野 合計	43	1,245	43単位(1,245時間)		
専門分野(臨地実習)	基礎看護学	4	看護を知る実習	1	40	◎	
			コミュニケーション実習	1	40	◎	
			看護過程実習	2	80	◎	
	地域・在宅看護論		在宅で療養する人の生活を支える実習	3	120	◎	
			療養生活を支える実習	2	80	◎	
	成人看護学		手術後の回復を支える実習	2	80	◎	
	小児看護学		子どもと家族の健康を支える実習	2	80	◎	
	母性看護学		女性と家族の健康を支える実習	2	80	◎	
	精神看護学		こころの病いをもつ人を支える実習	2	80	◎	
	看護の統合と実際		看護の統合実習	2	80	◎	
	学校又は養成所が教育内容を問わず定めることができる実習		与薬・検査を受ける人を支える実習	1	40	◎	
高齢者の生活再構築実習	3	120	◎				
※最低限取得すべき単位数	23	専門分野(臨地実習)合計	23	920	23単位(920時間)		
総計	102	総計	102	3,050	95単位(2,855時間)		